2026 年度第 6 回価格審査会の開催について

2026 年度第 6 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2026 年 9 月 15 日(火)
場　　所	本部 6 F 大会議室
委　　員	松田　寛志　　日本工営株式会社　日本地域統括（兼）東京支店長 遠藤　和重　　一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長 鈴木　由香　　株式会社日本設計　コスト設計部長 星野　正　　東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括) 松本　尚佳　　東日本建設業保証株式会社　業務部 副部長
当　　会	共通資材調査部　　部長：小林　法雅、次長：南　昌宏 建築調査部　　部長：高橋　俊一、次長：岩井 卓矢 監査審査室　　室長：黒澤　昭浩 調査統括部(事務局)　部長：大澤　勝、課長：竹屋　宏樹

□2026 年度第 5 回価格審査会議事録（案）確認

□2026 年度第 6 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
1．「建設物価」10 月号、「Web 建設物価」10 月号、 「土木コスト情報」秋号、「建築コスト情報」秋号の入稿状況 ・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 H形鋼（札幌市ほか48都市）、等辺山形鋼（札幌市ほか39都市）、レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（函館市ほか26都市）、コンクリート用骨材（室蘭市ほか53都市）、再生砕石類（新潟市ほか7都市）、アスファルト混合物（佐渡市）、道路用コンクリート製品（札幌市ほか13都市）、インターロッキングブロック（新潟市ほか15都市）、遠心力鉄筋コンクリート管（ヒューム管）（広島市ほか1都市）、構造用合板―ＪＡＳ品―（札幌市ほか10都市）、６００Ｖビニル絶縁電線（ＩＶ）（全国）、６００Ｖビニル絶縁ビニルシースケーブル（平形）（ＶＶＦ）（全国）、硬質ポリ塩化ビニル管（全国）ほか 【土木コスト情報】 ＜市場単価＞インターロッキングブロック工（新潟県ほか13都市）、防護柵設置工（落石防護柵）（全国）ほか ＜標準単価＞橋梁塗装工（全国）、表面被覆工（コンクリート保護塗装）（全国） 【建築コスト情報】 ＜市場単価＞アスファルト防水工事（全国）、シーリング工事（全国）、軽量鉄骨下地工事（全国）、左官工事（全国）、吹付工事（全国）、塗装工事（全国）、内装ボード工事（全国）ほか

・価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

異形棒鋼（水戸市他18都市）、鉄スクラップ（全国）ほか

【土木コスト情報】

＜標準単価＞橋梁塗装工（北海道ほか33都市）、構造物とりこわし工（北海道ほか33都市）ほか

【建築コスト情報】

＜市場単価＞型枠工事【単位施工単価】（さいたま市ほか1都市）

２．比較資料

・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問１	市場単価から単位施工単価への移行により、実勢の価格変動が把握しにくくなっている。移行から半年が経過した現在の型枠工事の動きを教えてほしい。	単位施工単価は市場単価の枠組みを活用し、一般的な取引価格を調査している。型枠工事は宇都宮・さいたま・千葉・那覇で規格間格差を見直した。一般的な取引価格は非公表だが同地区の市況は上昇している。なお、材料価格に変動はなかった。
質問２	建築コスト情報のコンクリート工事（打設手間）について、「労務費上昇を背景とする」とあるが、働き方改革等の影響が出ているのか。	週休二日制度の拡大等の働き方改革の影響が出ている。コンクリート工事（打設手間）は、専門工事業者が労務費の上昇に対する価格転嫁を需要家と交渉した結果、東京・大阪で上伸した。
質問３	建築コスト情報の改修・仮設工事の価格動向について教えてほしい。	改修・仮設工事は、働き方改革を背景とした労務費上昇を受け、専門工事業者は値上げ交渉を進めている。引き続き、価格動向を注視していく。
質問４	非鉄スクラップ（アルミ）は、中東情勢の影響で上昇していると思われたが当月は下落している。その理由は何か。	アルミ相場は２月から５月にかけて急騰した後、緩やかに下落している。直近も若干下落しており、その影響で値動きの速いスクラップは下落した。
質問５	全国各地で災害が発生しているが、災害復旧に伴い今後調達が困難となる資材はあるか。	災害復旧に関連した資材の動きとして地区の工場被災等はみられるが、現時点で調達困難な資材は見受けられない。
質問６	亜鉛の国際相場がここ半年で大幅に上昇しているが、非鉄スクラップ（亜鉛）等の値上がりは、これを反映した動きか。	亜鉛の建値は、国際相場の上昇を受けて８月に最高値を更新するなど、上昇が続いている。その影響で非鉄スクラップ（亜鉛）も上伸している。

質問 7	防護柵設置工等の値上がり理由に「労務費上昇を背景とする」とあるが、労務費上昇は、国土交通省（中央建設業審議会）の標準労務費の効果によるものか。	労務費上昇は、人手不足による賃金上昇や設計労務単価の引上げが主因である。国土交通省の施策の影響がどの程度かは把握できないが、一定程度は影響しているとみている。
質問 8	再生アスファルト混合物の佐渡地区について、他地区より値上がりの時期が遅れた理由は何か。	遅れた事実はなく、6 月号で一度上伸した後、今月号でさらに値上げが浸透した。
質問 9	燃料油は変動がなく全国で横ばいとなっているが、変動があった都市はないのか。	今月は全国で変動がなかった。ガソリン・軽油・A 重油等は政府の補助金対象油種であり市況が安定している。
質問 10	鉄スクラップは前月下落しているが、異形棒鋼は値下がり、H 形鋼は値上がりとなっている。鉄スクラップの影響度合い及び異形棒鋼と H 形鋼で逆の動きとなる理由は何か。	異形棒鋼と H 形鋼は、主として電炉メーカーが鉄スクラップを原材料として製造するため、原材料コストは同様に影響を受ける。ただし、電炉メーカーは販売価格を鉄スクラップの価格変動に連動させない方針をとっている。異形棒鋼は販売店間の競争激化により下落し、H 形鋼はメーカーが供給を絞り流通在庫を減らしたことで上伸した。
質問 11	下水道関連資材の価格動向を確認したい。また、更新工事等による需要増を見越して資材を先行して確保するような動きはあるか。	中東情勢の緊迫化を背景に、原材料の塩ビ樹脂価格が上昇しており、下水道関連資材は値上がりしている。なお、更新需要があるものの、資材価格の先高観から先行して確保するような動きはみられない。
質問 12	鉄道用コンクリート製品とは何を指すのか。また、リニア中央新幹線関連工事の影響で値上がりしている資材はあるか。	ケーブル埋設標や信号器具箱組立基礎、電柱基礎枠等である。鉄道用コンクリート製品は原材料であるセメントの値上がりにより上昇しているが、一般の鉄道用工事で使用される資材であり、リニア中央新幹線関連工事は価格に影響を与えていない。
質問 13	H 形鋼の需要は増加傾向にあるのか。	東京駅周辺等の再開発案件はあるが、需要全体では中小物件の影響が大きく、H 形鋼の需要は低迷している。直近の出荷増は、前年同月比で一時的に伸びたものであり、増加傾向にはない。
質問 14	仮設鋼材賃貸料金の H 形鋼不足分弁償金が上伸している背景を知りたい。	H 形鋼不足分弁償金は、リースした仮設資材が返却不能や再使用不可となった場合に、不足分を補うために支払う補償金であり、H 形鋼の市中価格に連動する性質のものである。当月は、H 形鋼の市中価格の上昇を受けて上伸した。

質問 15	砕石類の上伸が全国各地で見られるが、その背景を知りたい。	砕石類の需要は全体的に減少傾向にあるが、新規の開発が難しいことや廃業するメーカーがあることから供給が絞られている。需給が低水準で均衡するなか、輸送コストの増加や人件費の上昇などを背景に値上げが浸透している。
審議結果	「建設物価」10 月号、「Web 建設物価」10 月号、 「土木コスト情報」秋号、「建築コスト情報」秋号の価格動向に問題はなかった。	

以　上